

2007年11月14日

お客様各位

フィデリティ投信株式会社

弊社投資信託の基準価額下落について

11月13日(火)以下のファンドの基準価額が、前営業日の基準価額に対して5%を超えて下落しましたので、ご報告いたします。

ファンド名	11月13日 基準価額	11月12日 基準価額	騰落率
フィデリティ・アジア株・ファンド	30,924円	32,556円	5.01%

当ファンドの11月13日(火)の基準価額は、11月12日(月)のアジア株式市場の株価で決まりますが、今回の当ファンドの基準価額の下落は、12日のアジア株式相場が下落したことに起因しております。加えて、基準価額の算出に用いる円の対ドルレートが、13日に109.98円と前日の110.54円に比べ約0.5%のドル安・円高となったこともマイナスとなりました。

11月12日のアジア株式市場騰落率

	ドルベース	円ベース
MSCI AC ファー・イースト・フリー(除く日本)・インデックス	3.80%	4.29%

円ベースの算出にあたっては基準価額算出時と同様のTTMを使用。

12日のアジア株式相場は、米国のサブプライムローン(米国の信用力の低い個人向け住宅融資)に関連した損失の拡大や米国景気の先行き不透明感の台頭を背景とした世界株式相場下落の影響を受けて調整しました。また、円で借り入れた資金で投資する海外投資家の円高を背景とした売り圧力も相場下落につながったと思われます。

今後の市場の動きは慎重にみていく必要がありますが、弊社の運用方針に変更はございません。ボトム・アップ・アプローチを採用する弊社では、継続的に企業のファンダメンタルズ分析を行い、バリュエーションを常時モニターしながら、中長期的にベンチマークを上回るパフォーマンスを可能とする企業の選択に注力してまいります。

お客様におかれましては、引き続きご愛顧のほど、お願い申し上げます。